

## 【西区】令和3年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和3年2月5日 15時56分 ～ 17時59分
場 所	西区役所3階3B会議室
出席者	<p>【座長】荻原隆宏議員</p> <p>【議員：2名】清水富雄議員、荻原隆宏議員</p> <p>【西区：16名】寺岡洋志区長、松井達也副区長、宮川淳一消防署長、玉崎悟福祉保健センター長、小黒大治福祉保健センター担当部長、川北好伸土木事務所長、ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和3年度 西区編成予算（案）について</li> <li>2 令和3年度 西区編成予算（案）主要事業説明について</li> <li>3 西区における開発動向等について</li> <li>4 令和2年度 コロナ禍における事業展開の報告</li> <li>5 西区における新型コロナウイルス感染症の状況</li> </ol>
発言の旨	<p>【令和3年度 西区編成予算（案）について】</p> <p>【令和3年度 西区編成予算（案）主要事業説明について】</p> <p>&lt;令和3年度 西区編成予算（案）について&gt;</p> <p>清水議員：今年度は、コロナ禍によって多くの事業が中止となり、空白の時間ができてしまった。このような状況を踏まえ、次年度の予算編成における考え方や工夫をした部分などがあれば伺いたい。</p> <p>寺岡区長：前提として、感染症とどう向き合っていくのか、という視点で事業の見直しを行った。例えば、区民向けの講演会などは、感染症の拡大防止のため、Web等を活用した開催方法を検討し、経済の再生については、商店街を中心とした地域経済の活性化策を検討するなど、的確な事業展開が必要だと考えている。</p> <p>一方、区民まつり等については、元に近い形での再開要望があることから、区役所としてできる限り要望に応えていきたいと考えている。</p>

<地域連携交流事業>

**清水議員**：みなとみらいにキャンパスを開設する神奈川大学との連携に関して、現時点でどのような展開を考えているのか伺いたい。

**村上区政推進課長**：みなとみらいキャンパスには経済学部等が入るので、専門的な知見を生かしてもらいたいと考えている。例えば、学生のアイデアによる地域資源の活用方法の検討、SDGsの取組への連携、外国籍のこども達への日本語教室、などが考えられる。

また、1階ラウンジのほか、カフェテリアも地域に開放することなので、日常的な交流も含め、幅広い分野で連携していきたい。

**清水議員**：学生達にはみなとみらいだけでなく、既成市街地の方にも足を運んでもらえたらいいと思っている。

<高齢者あんしん生活サポート事業>

**清水議員**：高齢者の外出サポートとして、かつて西区では「お出かけサポート」というものがあり、現在、第3地区で「お出かけさん」というものがある。他地区でも考えられているようだが、現状はどうなっているか。13区で外出のサポートが実施されている。周遊バスを走らせるなど、提案として伝えておく。

**高橋高齢・障害支援課長**：第3地区の取り組みは地域ニーズと地域資源がマッチした素晴らしい取組。地域により状況は異なると思うので、にこまちプラン検討の際などに地域の声を聞き、活用できる資源も考えあわせ、必要な支援を行っていきたい。

**清水議員**：現在、13区で外出のサポートが実施されている。西区内でも山坂の多い地区では周遊バスに関する要望が長年に渡ってあるので、提案として伝えておく。

**荻原議員**：ころばんよ体操は、コロナ禍においても区民等に利用してもらっているのか。在宅時間が長くなり、運動不足の方が増えているため、室内で行える運動という点でニーズはあると思う。YouTubeのパタカラバージョンを見たが、閲覧回数は100数十件だったが、いつ公開したものなのか。

**高橋高齢・障害支援課長**：区で開催する講習会のほか、区が提供したDVDを活用し、各地域の団体が自主的に講習会を開催している。現在は、YouTubeにも公開し、これも活用している。パタカラバージョンは最近公開したため、まだ閲覧回数は少ないが、元々のバージョンは15,000件以上の閲覧実績がある。

**荻原議員**：活用をさらに進めてほしい。

<障害のある人も住みやすいまちづくり事業>

**荻原議員**：生活体験事業の実施時期について、換気のこととも考えると夏、冬を避けた方がいいのではないか。

**高橋高齢・障害支援課長**：資料中の開催時期は今年度と同じだが、前回の会議でも指摘があったので、関係団体と調整し、実施時期は変更する予定。

<子育て支援の推進>

**清水議員**：我々が子育てをしていた頃とは状況が変わってきていると思うが、最近の相談の傾向等はどうか。例えば、在宅時間の増加などは影響しているのか。

**松石こども家庭支援課長**：今年度は相談件数が3、4割増加しており、新型コロナウイルス感染症による影響の程度は定かではないが、少なからずあると考えている。内容としては、失業などの経済的なことに関わる相談や在宅勤務が影響していると思われるDVに関する相談などが増加している。

**荻原議員**：コロナ禍で通常とは異なる不安を持っていると思う。何に気を付けたらいいのか。そういうことも含めて相談に対応してもらえればと思う。

**松石こども家庭支援課長**：新型コロナウイルス感染症を理由とした予約のキャンセルが発生している。感染症に関する内容も含め、様々な不安についての質問があったときは、カウンセラーや保健師が、細やかに対応している。ご提案を踏まえ、今後、プレパパママクラスにおいて、感染症への対策という観点での情報提供を検討する。

<地域資源を活用したまちの回遊性向上事業>

**荻原議員**：ガーデンネックレス事業で花や緑を回遊性に繋げるということだが、具体的に回遊性が高まっていくことが実感できる工夫などはあるか。また、花の場所の案内はどのように行うのか。

**村上区政推進課長**：横浜市が行うガーデンシティ横浜の公式パンフレットに区内の花と緑の魅力スポットを掲載してもらおう。また、既成市街地にもフォトスポットを設定し、多くの方に足を向けてもらおうなどを検討している。広報よこはま西区版での特集のほか、インスタグラムやデジタル観光マップなどのデジタル媒体も活用し、情報発信をしていきたい。

**荻原議員**：コロナ禍が終息してからになると思うが、みなとみらい等でウォーキング、ランニングを楽しんでいる方に既成市街地まで来てもらうといった展開の仕方も検討してほしい。

**清水議員：**西区では温故知新の取組がある。歴史資産である三菱ドックや霞橋など、地域資源を活かした事業展開を検討してほしい。例えば、霞橋は、かつてガス灯がついていたので、ガス灯を復元し、回遊性の向上に繋げるといった事業も検討してほしい。また、そういったものがつけられたらいいという地域の声があることも伝えておく。

**村上区政推進課長：**地域資源を活かした取組については、地域の声にも耳を傾けながら今後も継続していきたい。

<商店街及び「まち」のにぎわい創出事業>

**荻原議員：**商店街スタンプラリー事業について、事業成果など総括してどうだったか。飲食店は厳しい状況なので、行政の取組が毎年バージョンアップしている実感があると勇気づけられる。できるところで総括をしてもらい、それを参加店舗等に伝えてほしい。

**西野地域振興課長：**商店街スタンプラリーの実績として、参加人数は若干増加した。参加店舗から聞き取りをしたので、来年度の事業に活かしていきたい。

**清水議員：**商店街の関連で飲食店のテラス利用について、現在、条件が緩和されていると聞いたが、実際にはどのような状況か。しばらくこの状況が続くと思うので検討してほしい。

**森土木事務所副所長：**飲食店のテラス利用については、市内7か所で緩和されている。西区内でも数か所相談はあったが、交差点等だったため、全て断っている状況。

**清水議員：**西区役所の職員が商店街等から昼食をテイクアウトしていると説明があったが、具体的にはどのような取組をしているのか。

**松井副区長：**毎週火曜日に40、50食調達しており、大体4万円程度の売上になっていると聞いている。また、取組を拡大し、数をあまり用意できない店舗を対象に月曜日に10食程度の注文をするようにした。西区役所職員が商店街を支援していくんだということを今後も拡げていきたいと考えている。

**清水議員：**良い取組だと評価している。私も地域に対して西区役所職員も協力しているということをPRしていく。

<西区民まつり>

荻原議員：コロナ禍でも実施していくという言葉について、どんなに厳しくても何がなんでもやるんだという意味ではないという理解でいいか。

寺岡区長：西区民まつりも含め、事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を十分考慮した上で、実施の可否を判断する。

<西区ヨコハマ3R夢推進事業>

清水議員：行政による清掃活動について、清掃に参加した職員はどこの職員なのか。また、地域の方は参加しなかったのか。

藤塚資源化推進担当課長：清掃に参加した職員は、地域振興課の職員、区政推進課の職員、資源循環局の職員、都市整備局の職員など。コロナ禍ということもあり、地域の方々の活動ができないので行政職員で実施した。

<安心して暮らせるまちづくり推進事業>

荻原議員：コロナ禍で、犯罪の発生状況などに変化はあったか。

松井副区長：特別定額給付金の際、これに関連する話があった。なお、西区は戸部警察署と連携して青色パトロールを事業として実施しており、通年で注意喚起を行っている。

清水議員：迷惑スケートボードはよくないと思うが、一方で若者がスケートボードを楽しめる専用広場を用意する必要がある。スケートボードの専用広場を各区に1か所ずつ、西区ではみなとみらいに整備するなど、何か工夫ができないか検討してほしい。

西野地域振興課長：戸部警察署等の関係機関と調整しながら対応について検討していく。

村上区政推進課長：現在、スケートボード専用広場は市内の4公園に整備されている。オリンピック種目にもなっていることから専用の場所を求める声も届いており、ご意見については、所管局である環境創造局に伝える。

<地域防災活動推進事業>

荻原議員：今ここで地震が発生した場合、コロナ禍と重なり複合災害となる。このような時に地域防災拠点ではどのような対応が必要になるのか。また、配備品に関して、避難者の人数規模に対応できているか、不足している状況はないかといったことを伺いたい。

**近藤総務課長**：地域防災拠点では配備品の充実を進めており、新型コロナウイルス感染症への対応として、体温計、アルコール等の感染症物品を追加で配備した。各地域防災拠点には配備品として、2,000個の食料と水缶が常備されており、発災時は各拠点の状況に合わせて追加で支給していく。  
また、拠点の密を避けるため、在宅避難の協力を呼びかけており、今年度は広報よこはまで呼びかけ、来年度はリーフレットを発行する。

**【西区における開発動向等について】**

**【令和2年度 コロナ禍における事業展開の報告】**

**【西区における新型コロナウイルス感染症の状況】**

<西区における開発動向等について>

**荻原議員**：港湾局が臨港パークの先端に藻場を作ろうとしているが、西区とも調整しているか。

**村上区政推進課長**：現時点では、予算書のレベルでしか情報提供は受けていない。今後局から詳しい情報を収集し、調整していきたい。

<西区における新型コロナウイルス感染症の状況>

**荻原議員**：西区は人口10万人あたりの数字で3番目となっている。1番は中区で、2番が南区。どういったことが理由として考えられるか。

**玉崎福祉保健センター長**：現状では、具体的な理由は定かでない。中区、南区と調整しながら、原因等を考えていきたい。

**清水議員**：PCR検査の費用が場所によって異なる。また、行政から連絡を受けた場合は無料だが、自分の意思で行う場合は有料となるなど、PCR検査を受けたいという人は、どこに行けばいいのか。

**玉崎福祉保健センター長**：PCR検査について、濃厚接触者の場合、本人負担の検査料は0円で検査を受けることができる。ただし、診察代として別途2、3千円が必要となる。

なお、有症状であれば、上記の金額になるが、有症状でない場合、医師の判断によっては3万円前後の費用がかかるため、検査希望者には、クリニックに金額等を確認するよう声かけしている。まずは我々に相談してほしい。

## 【その他】

### <マイナンバーカード>

**清水議員**：今後もICTツールの利用が進み、将来的にはマイナンバーカードとの紐付けが進んでいくものと思われる。令和4年度までに全市民にマイナンバーカードをとという話があるが、現在の西区のマイナンバーカード普及率はどの程度か。

**松井副区長**：速報値で確たるものではないが、西区の普及率は約31%。市全体は約27%と報告を受けている。全市平均よりも普及率は高い。

**清水議員**：目標を達成するためには、かなりの努力が必要なので、西区としても対策をしっかり講じてほしい。

### <消防関係>

**清水議員**：予算研究会において、コロナ禍での救急車の出動が話題に上がった。西区の状況はどうか。西消防署に救急車は何台あるのか。

**宮川署長**：西消防署には、出張所も含め救急車は計5台ある。新型コロナウイルス感染症の患者の搬送は増えているが、救急搬送の件数自体は減少傾向にある。

西区の場合、都心部を抱えているが、人出が減少していることもあり件数は20%程度減少している。ただ、報道されているとおり、新型コロナウイルス感染症の患者の受入が敬遠され、受入調整に時間を要する状況となっている。

**清水議員**：感染対策として、至る所で手指消毒が行われているが、消毒用アルコールによる火災の危険性について話を聞いた。西区として周知する考えはあるか。また、事故の事例などはあるか。

**宮川署長**：消防においては、既にアルコールということで火気の取扱いを注意してほしいと注意喚起をしている。事故の事例は今のところない。

### <区提案反映制度>

**清水議員**：令和3年度の区提案反映制度について、西区からは5項目提案しており、高島町駅周辺の歩行者環境の改善の件も含め、全て実施と判断されたことは、大変良かったと思っている。区提案に関する今後の話として、西区庁舎の駐車スペースは狭く、区役所の運営に支障があると思うので、この区提案反映制度を活用し、駐車スペースを増やすことを検討してほしい。

**近藤総務課長**：区提案反映制度の活用を検討していきたい。

	<p>&lt;令和2年度 自治会町内会講習会DVD「コロナ禍での自治会・町内会活動」 (市民局地域活動推進課作成)の貸出&gt;</p> <p><b>清水議員</b>：自治会町内会講習会DVDについて、この場で紹介してもらうことはできるのか。</p> <p><b>西野地域振興課長</b>：上映時間が40分程度になるため、後日改めてDVDの形で情報提供する。</p>
備 考	